

■指導・監督の指針に基づく教育内容

■すべてのバス事業者が実施する指導・監督の内容

教育項目		管理者用資料	運転者向け（3つのキーワード）
①	バスを運転する場合の心構え	・プロの運転者として、責任を果たす運転をしよう	①公共交通機関としてのバス事業の社会性を意識しよう ②ひとたび事故を起こすと人身被害が大きい ③思いやり、譲り合いの気持ちで運転しよう
②	運行の安全・乗客の安全確保	・法令を遵守した運転を心がけさせよう	①日常点検整備を徹底しよう ②酒気帯び運転を塞ぐ為に前夜に深酒をしないようにしよう ③点呼を受ける時には、指示事項・危険情報などをきちんと聞こう
③	バスの構造上の特性	・バス死角の大きさ・車高の高さを意識させよう	①死角に隠された危険を見にくい意識を持とう ②高さ制限の標識を見落とさないようにしよう ③バック時はできるだけ誘導を依頼し慎重にバックしよう
④	乗車中の旅客の安全確保	・旅客の安全を守る運転について理解させよう	①車内事故を防ぐ為、アナウンスを活用しよう ②貸切・高速バスでは、シートベルト着用を徹底しよう ③カーブでは遠心力を意識し、緩やかなハンドル操作をしよう
⑤	乗降時の安全確保	・乗り降りする乗客の安全を確保しよう	①乗客が安全に乗車したことを確認し、ドアを閉めよう ②バスを降りる乗客と自転車・バイクとの衝突を防ごう ③乗客が安全に降りたことを確認してからドアを閉めよう
⑥	運行経路の交通状況異常気象時の対処方法	・運行経路上の安全情報を常に意識させよう	①同じ道路でも時間帯によって危険状況が変わる事に留意しよう ②運行指示書に従って運行し、経路を変更しない ③異常気象時の対処方法を学ぼう
⑦	危険の予想及び回避と緊急時対応	・常に危険を予測して運転する重要性を理解させよう	①高齢者の特性を知り、危険な行動を予想しよう ②悪天候の山道などでは、スリップを予想し慎重に運転しよう ③他車の危険な行動を予想し、車内事故を防ごう
⑧	運転者の運転適性に応じた安全運転	・自分の性格等を理解して安全運転につなげさせよう	①他車の行動に『カッ』としても、一息ついて運転に影響させない ②自分の運転の欠点を意識して、安全運転に努めよう ③『動作優先』の運転になっていないか、常に意識しておこう
⑨	運転者の生理的・心理的要因	・事故に結びつく生理的・心理的な危険要因を教えよう	①休憩時間が長久手も運転中はアルコールを絶対飲まない ②遅れを気にして『急ぎの心理』に陥る危険を自覚しよう ③睡眠不足や疲労が残ったまま運転する事が無いようにしよう
⑩	健康管理の重要性救命救急	・健康管理が安全運転の基本であることを意識づけよう	①健康診断で『要再検査』を指摘されたら、必ず受診しよう ②運転中の間食を避けて、栄養バランスの良い食事をしよう ③少しでも体調の不良を感じたら、無理をせず管理者に相談しよう
⑪	安全装置を備える自動車の運転方法	・運転支援装置の役割と機能を理解させよう	①運転支援装置の機能を理解して安全運転に活かそう ②安全な自動ブレーキと勘違いをしないで、ブレーキ操作を確実にしよう ③クルーズコントロールに安心してわき見などをしない

■貸切バス事業者が実施する指導・監督の内容

①	ドライブレコーダーを利用した安全運転	・ドライブレコーダーの記録を個別指導に活用しよう	①ドライブレコーダーの映像をみて、スピードコントロールを学ぼう ②自分がきちんと安全確認をしているか反省しよう ③急ブレーキなどのイベント記録を避けようとして、無理な運転をしない
②	ドライブレコーダーの記録の共有・活用	・事故映像などを活用して、危険体験を共有しよう	①他の運転者の運転ぶりをみて、安全な運転方法を学ぼう ②事故やヒヤリ・ハット映像から、危険な運転者心理を考えよう ③映像を時系列で確認して、危険予想をしよう
③	非常用器具・訓練タイヤ交換	・急な事態に遭遇してもすぐ実践出来る様に準備しておこう	①消火器具 使い方をしっかり学ぼう ②バスジャック・その他事故に遭遇した場合は想定して、訓練しよう ③タイヤ交換等、点検も含めて整備関係を学ぼう